

## ごあいさつ

日頃、皆様には本組合の事業運営に特段のご支援とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

本年も、当JAの経営内容を公開し組合員、利用者の皆様が安心してご利用頂けるよう、ディスクロージャー誌を作成致しましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度は、米中貿易交渉の緊迫化や英国のEU離脱など波乱含みであり、国内においても、日EU・EPA、日米貿易協定の発効、台風・豪雨等の自然災害、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、農業・農村そしてJAを取り巻く環境は依然厳しい状況が続きました。

そして、令和2年3月31日には「新たな食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、基本方針として、産業政策と地域政策を両輪に食料自給率向上と食料安全保障の確立を図ることが示されました。また、JAグループを巡っては、昨年5月末に政府による農協改革推進集中期間が終了し、自己改革の取り組みについては一定の評価を得ることができました。

当JAにおいては、第六次中期経営計画の最終年として、「地域農業の振興と農業所得の増大」「豊かな地域社会の創造」「地域を支えるJA経営の確立」の実現に取り組んでまいりました。「地域農業の振興と農業所得の増大」の取り組みとして、たまねぎの機械化一貫体系の体制強化を図り生産拡大に取り組むとともに、販路拡大として6次化による商品開発を行いました。「豊かな地域社会の創造」の取り組みでは、青年部・女性部組織による子どもたちへの食農教育を積極的に行ない、食料を支える農業の大切さを伝える活動を実施しました。「地域を支えるJA経営の確立」の取り組みでは、JAぎふとの友好JA協定を締結し、情報共有や交流を通して両JAの取り組みを学びあい、切磋琢磨しながら協同組合活動の強化や地域の活性化などに取り組むことを確認しました。また、第七次中期経営計画策定検討委員会を設置し、次期中期経営計画の策定に取り組む、引き続き自己改革の実践に向けて取り組みを強化してまいります。

令和元年度の事業成績であります。組合員の皆様が積極的にJA事業をご利用頂いた結果、事業利益は1億29百万円となり、当期の剰余金は1億14百万円、当期の未処分剰余金は6億58百万円となりました。

令和2年度は第七次中期経営計画に基づき、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた取り組みを積極的に展開し、地域農業と暮らしに必要とされるJAを目指してまいりますので、より一層の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



令和2年7月

みやぎ仙南農業協同組合

代表理事組合長 舟山 健一